

令和 8 年度 前橋市粕川児童館運営委員会 議事録

区 分	内 容
件 名	令和 8 年度前橋市粕川児童館運営委員会
日 時	令和 8 年 6 月 2 日（火） 午前 1 0 時 3 0 分から午前 1 1 時 1 5 分まで
場 所	粕川児童館 卓球スペース
出 席 者	1 運営委員 粕川町自治会連合会会長 大出 浩司 粕川町自治会連合会会長 真藤 博之 粕川地区民生委員児童委員協議会書記 長谷川 秀子 粕川地区民生委員児童委員協議会主任児童委員 関口 みち子 粕川地区民生委員児童委員協議会主任児童委員 深澤 淳子 粕川地区子ども会育成団体連絡協議会会長 坂本 千恵美 粕川小学校校長 藤井 麻里 2 事務局 こども施設課 山口課長、米谷係長、横山 粕川児童館 佐藤館長、田邊厚生員 3 欠席者 粕川地区青少年健全育成会会長 平澤 ひろみ
決定事項	1 運営委員会役員 会長 大出 浩司 副会長 真藤 博之、長谷川 秀子 2 令和 8 年度前橋市粕川児童館事業計画 資料（計画案）のとおり
主 な 意見等	意見交換 （大出会長） 粕川児童館は他の児童館と比較すると利用頻度は低いのか。 （山口課長） 他児童館に比べると、粕川は少ない。しかし、これから 1 万人くらいの利用が見込めるのではないかと。 （佐藤館長） 粕川は継続して利用してくれる人が多い。しかし、新規は少なく、絶対数が増えているわけではない。 （大出会長） 新規・単発で来る人は少ないが、継続して利用してくれる人が多いのはいいことである。他館との交流はあるのか。 （佐藤館長） 共同でやることはないが、行事を他館長が見に来ることはある。 （大出会長） 職員間で交流し、ローテーションで回せると、より交流が広がると思う。 （佐藤館長） 情報は館長会議で共有している。

(大出会長)

老朽化で子どもたちの遊びの妨げになっていることはないのか。

(佐藤館長)

以前、撤去した遊具がある。修理しようにも、今の規格に合わないのでできない。安全面は考えながら運営している。

(大出会長)

費用は市からなのか。整備に対する費用の運用はどうなっているのか。

(山口課長)

費用は市からである。子どもたちの安全を第一として動くようにしている。限られた費用の中で、各施設なかなか手が回らないが、順位をつけながらやっている。

(大出会長)

民間企業等に寄付を募るなどはどうか。

(山口課長)

民間企業や一般の方からの寄付もあるので、利用させていただきながら運営している。

(大出会長)

運営委員会としての活動は何をすればよいのか。

(米谷係長)

気づきや考えがあれば、ご意見いただきたい。

(坂本委員)

粕川に総合施設を建てる計画について、児童館の老朽化にあたり、合併し、新しく子どもが利用しやすくするのはどうかと別会議で意見を出した。

(山口課長)

施設を統合する計画は市の方でも承知している。どのような建物・機能性にするかは現在検討中である。

(坂本委員)

子どもを育てやすいところは住みやすくなり、人口増加にもつながる。子どもが利用できる施設を整えると良いと思う。

(米谷係長)

日吉を数年前に総合福祉会館に入れた。児童館が施設内の利用者数のトップになっているため、今後の施設統合の参考になるのではないかと。

(藤井委員)

行事の選定、企画はどうやっているのか。

(田邊厚生員)

前年度に人気だった行事は、引き続き行っている。人気が少ない行事に関しては、廃止したりもしている。また、どういう行事がしたいか聞いて新しいものを取り入れることもある。行事は平日の午前にやることが多く、親が子にやらせたいものを考えるようにしている。幼児が参加できるものが少なく、土曜に行事を入れるようにしている。

(藤井委員)

高学年は自分で企画することで成長につながることもある。放課後に小学生に自分たちで何ができるか考えさせてみるのも良いのではないかと。小学生・中学生をお客さんとして迎えるのではなく、企画する側にするのも良いと思う。学校と連携して、学びの場

とすることができるだろう。

(佐藤館長)

以前から、壁に絵を描く案を考えていた。

(藤井委員)

粕川は地域密着型なので、愛着が湧くような企画はいいと思う。

(坂本委員)

育成会も協力できる。コロナで予算が余っているため、子どもたちに還元したい。

育成会を構成するのは働いている親が主なので、企画はしにくい。もし、発案してもらえれば、協力はできる。

(大出会長)

学校に美術の時間で描けるのであれば、子どもたちも嬉しいのではないか。子どもたちにやりたいようにやらせて、子どもたち同士で学び学ばせる関係性にしていければよいのではないか。

以上